

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こどものことばとこころの相談室(放デイ)				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% (8)		小2までにしておりグループのみという事も影響	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100% (8)			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	63% (5)	37% (3)	グループに応じて構造化された環境を設定しております 段差はマンパワーで対応しています	段差はありますが、マンパワーで対応しております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	75% (6)	25% (2)		床が硬い →今後検討していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (8)			
業務 改 議	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (8)			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87% (7)	13% (1)	年に1回の自己評価を行っています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (8)			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	37% (3)	63% (5)		第三者委員会は設定しておりません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	87% (7)	13% (1)	オンライン研修 職員でチームになり現場実習を行っています	新人育成研修もあると良い →今後検討していきます
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (8)			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	100% (8)			
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (8)			
	14	放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (8)			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (8)			
	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (8)			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (8)			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (8)			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	87% (7)	13% (1)	こころくらぶでは学習の時間、集団活動の時間等活動を組み合わせ設定していました	職員配置の関係で個別支援を行う事が難しかった
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (8)			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (8)			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (8)			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (8)			
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100% (8)			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (8)			
関 係 機 関 や 保 護 者 の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (8)			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (8)			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100% (8)		年度始めの連絡会や、移行期の学校連絡会を実施しています。その際、支援プログラムをお伝えしたり、下校時間の確認を行ったりしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100% (8)			
	30	学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75% (6)	13% (1)	今年度は該当児がいなかったため行っていません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	87% (7)			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	37% (3)	37% (3)	保護者会事業を行いました。多くのお子さんが地域の学童クラブを併用しています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	87% (7)	13% (1)	自立支援協議会に参加しております	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (8)			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50% (4)	37% (3)		フォーマルなペアレントトレーニングは行ってない →検討していきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (8)			
	37	放課後等ディサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (8)			
	38	「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	100% (8)			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (8)			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100% (8)			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (8)			
	42	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	37% (3)	63% (5)	今後 SNS 等で発信していく予定	ホームページはありますが定期的な情報発信については今後検討していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (8)			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (8)			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50% (4)	50% (4)	福祉フォーラムへの参加	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (8)			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (8)			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100% (8)			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	63% (5)	37% (3)	給食の提供がないため、医師の指示書はもらっていません。おやつ提供に関しては、保護者からアレルギーの有無について聞き取りを行いながら提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (8)			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87% (7)	13% (1)		年度始めの連絡をする際周知を徹底していく予定です
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (8)			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (8)			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	100% (8)				

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどものことばとこころの相談室（放デイ）
------	----------------------

公表日年月日 R7.3.13

利用児童数 13

回収数 13

	チェック項目	利用児童数 13				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92% (12)	8% (1)				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	46% (6)	38% (5)	16% (2)		支援を続けてほしいです(2名) 夏休みのこころクラブがなくなり子ども がガッカリしています 職員が増えて来年以降も利用させて いただきたい	職員配置は満たしておりますが、職員 体制の充実に関しては、今後体制を整 えていく予定です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切(こなされている)と思いますか。	69% (9)	23% (3)	8% (1)		トイレをもう少し広くしてほしい もう少し設備を今風にしてほしい	バリアフリートイレをご利用ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	76% (10)	16% (2)	8% (1)		トイレを綺麗にしてほしい	毎朝トイレ清掃を行っております。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	92% (12)	8% (1)				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	76% (10)	16% (2)		8% (1)		支援プログラムは、館内掲示とホーム ページに載せています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された 上で、放課後等ディサービス計画(個別支援計画)が作成されて いると思います か。	92% (12)	8% (1)				個別支援計画は作成し、保護者にも署 名で確認いただいております。
	8 放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等 ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示 す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的 な支援内容が設定されていると思いますか。	92% (12)	8% (1)				ガイドラインを元に、支援を提供させて いただいております。
	9 放課後等ディサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (13)					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100% (13)					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 があり ますか。	38% (5)	23% (3)	8% (1)	31% (4)		交流の機会は設けておりませんが、ほと んどの利用児が学童クラブ等と併用さ れています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧 な説明がありましたか。	100% (13)					
	13 「放課後等ディサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (13)					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族 等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	69% (9)	31% (4)				ペアレントトレーニングは行っておりませ んが、定期的に座談会を実施しており ます。外部の研修会は掲示にてご案内 しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況に ついて 共通理解ができていると思いますか。	100% (13)					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92% (12)	8% (1)				ご利用の際には支援の様子や近況に ついて、お話を伺う機会を設けていま す。半年に一回は面談の機会を設けて おります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92% (12)	8% (1)				今後も本人やご家族に寄り添った支援 を提供できるよう努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機 会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベン トの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支 援がされていますか。	84% (11)	8% (1)	8% (1)			保護者会事業を 11 月に実施しまし た。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていると子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	69% (9)	23% (3)		8% (1)		ご希望に応じ、随時面談や相談を受け付けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92% (12)	8% (1)			工夫してもらっている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	46% (6)	23% (3)		31% (4)	ネットによる発信があるかどうか知らなかったです	自己評価は、社会福祉協議会のホームページにて掲載しています。SNSについては検討中です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100% (13)					
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	77% (10)	15% (2)		8% (1)		再度周知を図っていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	54% (7)	15% (2)		23% (3)		月1回、訓練(地震、火災、水害、不審者について)を行っております。利用児参加の訓練も行っております。今後更なる周知を徹底していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84% (11)	8% (1)		8% (1)		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	62% (8)	8% (1)		31% (4)		今年度大きな事故は発生していませんが、発生した際には迅速に対応していきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100% (13)					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100% (13)					
	29	事業所の支援は、満足していますか。	92% (12)	8% (1)			来年も通えるよう人員が増えてほしいです。 人員を増やしてほしいです。 建物をキレイにしてほしいです。 もうちょっと数を増やしてほしい。 できるなら平日にしてほしい。 ただ職員の方の人数が増えてくれるといいです。	様々なご意見ありがとうございます。より一層、充実した支援が提供できるよう、検討してまいります。

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどものことばとこころの相談室(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日 ～ R6年12月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	R6年11月1日 ～ R6年11月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型のため、就学時に支援が途切れず一貫した支援を提供できる	<ul style="list-style-type: none"> 親御さんの承諾を得てスムーズに移行ができるよう学校の先生と年度初めに連絡会を行っている 年長児の親へ放デイ説明会を行っている 入学後も放デイで小集団支援を行っている 学校や教育委員会と連携をとり、委員会への出席や学校見学を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実 更に職員を確保し放デイの充実を図る 学校への訪問回数や、ケース会議を増やす
2	相談支援センターが同じ建物内にあるため、相談支援専門員との連携が図りやすい	<ul style="list-style-type: none"> 事務所を共有し密に連携、情報共有を行っている 園訪問を積極的に行い地域支援にも力を入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてケース検討を密に行っていく
3	ベテラン職員がアセスメントし、発達段階を捉えた支援を提供している	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ研修(太田 stage 評価、発音) 特性に応じて支援プログラムを立案している 支援前後の打ち合わせや、振り返りを行っている 中間評価や期末評価の際には、グループに携わっているスタッフで検討を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修(外部研修や育成)を行い知識を身につけ、スキルアップを図る ケース検討を行いながら様々な視点を入れていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職の不足(言語聴覚士や保育士) フルタイムの指導員の不足	<ul style="list-style-type: none"> 正職員の採用の機会の少なさ 業務内容の専門性が高い 業務内容が多岐に渡ることから、個々の負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 正職員を採用し人材を育成する
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域支援の充実 人員基準は満たしているが指導員は不足しているため、日々のグループ支援が中心となっている。そのため、利用児の所属園や学校での様子を見学する機会が持ちにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 専門性のある指導員(正職)が不足しているため、事業所内で支援を提供することで手一杯なところがあり、連携機関に訪問する時間が取れない 	<ul style="list-style-type: none"> 若手の採用、育成 職員で連携を取りながら協力していく 多種職連携に積極的に取り組んでいく